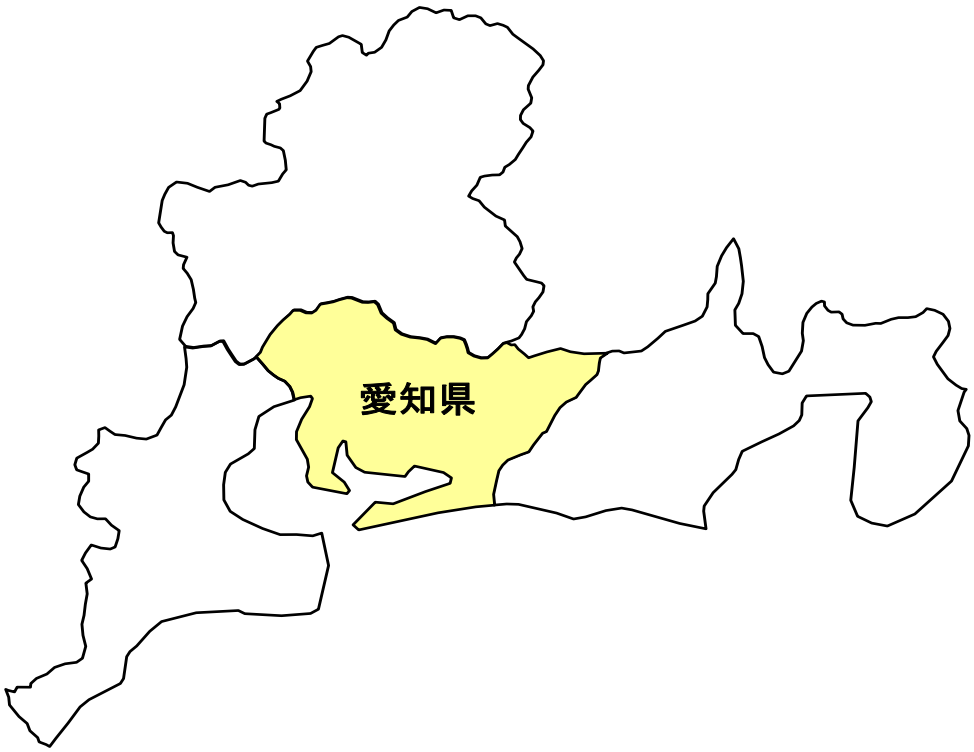
最近の愛知県内経済情勢について

（県内経済情勢報告）



令和7年4月

財務省 東海財務局

1. 総　論

愛知県内経済は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

【総括判断】

項　　目	前回（7 年 1 月判断）	今回（7 年 4 月判断）	前回との比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	⇨

（注）7 年 4 月判断は、前回 7 年 1 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善している。

【各項目の判断】

項　　目	前回（7 年 1 月判断）	今回（7 年 4 月判断）
個人消費	持ち直している	持ち直している
生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある
雇用情勢	緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている	緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている

2. 各 論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

（主要項目）

個人消費は、持ち直している

スーパー販売は、持ち直している。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直しつつある。ドラッグストア販売は、緩やかに回復している。百貨店販売は、一進一退の状況

にある。家電大型専門店販売は、持ち直している。ホームセンター販売は、一進一退の状況にある。乗用車販売は、持ち直している。

生産活動は、緩やかに回復しつつある

自動車関連は、緩やかに回復しつつある。金属工作機械は、緩やかに持ち直しつつある。電気機械は、横ばいの状況にある。普通鋼は、足踏みの状況にある。特殊鋼は、足踏みの状況にある。

雇用情勢は、緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。完全失業率は、低水準である。法人企業景気予測調査の従業員数判断 BSI でみると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超となっている。

（その他の項目）

住 宅 建 設 ― 前年を下回っている。
設 備 投 資 ― 6 年度は増加見込み。
公 共 事 業 ― 前年を上回っている。
輸出入(円ベース) ― 輸出は、前年を上回っている。輸入は、前年を上回っている。
企 業 収 益 ― 6 年度は増益見込み。
企業の景況感 ― 全産業の現状判断（7 年 1-3 月期）は、「下降」超となっている。
企 業 倒 産 ― 企業倒産件数は、前年を上回っている。

3. 県内景気に関する地域の声

・ 引き続きメリハリのある消費傾向がみられており、休日を中心として高価格帯の寿司や総菜が堅調に推移している。農産物は相場高の影響から単価が上昇しており、売上げの増加に繋がっている。

（スーパー）

・ 自動車メーカーにおける工場稼働停止の影響により、生産は計画ほど上向いておらず、前四半期と同程度か若干上回る程度で推移している。

（輸送機械）

・ 企業における処遇改善の動きが加速していることから、転職を控える動きがみられ、求職者が減少傾向にある。

（公的機関）

1．本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局　経済調査課

TEL(052)951-2632（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

2．愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

https://lfb.mof.go.jp/tokai/